

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立海津特別支援学校

学校番号

1 1 1

自己評価

学校教育目標	かけがえのない いのちの つながり 児童生徒がもつ可能性を最大限に伸ばすことができるように (1) 児童生徒一人一人の障がいの状況や、発達段階等に応じたきめ細かい教育を行う。 (2) 仲間と共にとくましく、明るく生きる力を育む。 (3) 一人一人が社会自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能を培う。
評価する領域・分野	「保護者、地域との連携」「安全な教育活動・学習活動」「進路指導」
現状及びアンケートの結果分析等	保護者が学校の活動に対して積極的に関わろうとする姿勢が89%を超えるアンケート回収率からうかがえる。保護者の関心の高さが本校の強みとなっている。アンケート結果からは「教育方針」「家庭との連携」「教職員」「授業」など全般において高い評価をいただいた。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心できる教育環境をつくる。 ・一人一人の児童生徒の身辺的自立や社会的自立の支援をする。 ・地域との共生を図る。 つながりを広げることを重視し、学校・保護者・地域・関係機関とのつながりを考え、「チーム学校」の重要性を見なおし、「チーム海津」の構築を進める。
重点目標を達成するための校内組織体制	・主事会 ・企画委員会 ・部会 ・分掌会 P T A役員会
目標の達成に必要な具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が学びの充実を得るための学習体制や学習内容について検討する。 ・保護者との意思疎通を図り適宜連絡を行う。 ・I C T機器を有効利用できるように研修を充実させる。 ・地域交流を進める。 ・生徒の状況に応じた丁寧な進路指導を行う。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見・感想 ・学校運営協議委員等からの意見 ・学部内・校内における教員相互の事後評価
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部を中心に学校教育計画を見直し、安心安全な教育活動に努めた。 ・生徒支援部を中心に児童生徒が安心して相談できる環境作りに努めた。 ・学校間交流や居住地校交流などを実施した。 ・I C T機器を授業に活用する研修を複数回実施した。 ・校内作業実習、就業体験を実施した。
評価の視点	評価
① 安心安全な学校生活を送れる体制づくりができたか。	Ⓐ B C D
② 効果的な教育活動を行うために、I C T機器を使った授業を実施することができたか。	A Ⓑ C D
③ 児童生徒の社会自立に向けた教育活動が展開できたか。	Ⓐ B C D
④ 地域に根差した学校として発信したり、地域の人々と交流したりすることができたか。	A Ⓑ C D

⑤ 児童生徒の状況に応じた段階的な進路指導をすることができたか。		Ⓐ B C D
成果・課題		総合評価
<p>○授業参観や保護者懇談を行い、教育活動の発信や教育方針の理解・啓発に努めた。</p> <p>○運動会や修学旅行、校外学習などの各種行事を実施し、児童生徒の心に残る活動とすることができた。</p> <p>○iPad等のICT機器が多くの授業で活用されるようになった。また、その有効な使い方について多くの職員が研修会などを通して学んだ。</p> <p>○学習支援部が主催する研究を通して、互いの授業を見学する機会を増やし、各自がよりよい授業づくりを意識することができた。この結果、保護者から教師の専門性について高い評価が得られた。</p> <p>▲マスクの着脱も含め、各自が判断し、状況に応じて基本的な感染症対策を実施できる力が児童生徒だけでなく教員にも求められると感じた。</p>		A Ⓑ C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた感染症対策を促し、安心安全な教育環境を維持する。 ・ICT機器利用が校内で一定の定着を得た。今後は教育効果を高めることができたICT機器活用事例の蓄積を継続していく。 ・児童生徒の実態に応じて必要とされる支援を見通しをもって行き、授業実践と授業公開を重ねることで、児童生徒の主体的な姿を引き出し自立度を高める。 ・作品展示や作業製品販売を通じて、地域との連携を深める効果的な方法を検討する。 ・進路学習や作業学習を継続し、児童生徒の進路実現に向けてつなげる方法を探る。 	

学校関係者評価 (令和6年2月1日実施)

<p>意見・要望・評価等 (学校評議委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけがえのないいのちのつながりを重視した本校の教育方針は、年間を通じて一貫性があり素晴らしい。高等部の素晴らしい発表を見ると小中学部の取組の様子が分かる。小学部から一人一人の成長につながる教育が継続して行われてきたことが理解できた。 ・児童生徒が目的をもって挑戦する姿を感じた。自分のテーマを設定し、達成感を積み重ねていく姿も見られた。楽しみながら学んでいる様子も印象的であった。特に体育館での高等部の発表に感動した。音楽とダンスを通じて友人との触れ合いによる成長を見ることもできた。 ・各学部とも大きな成長を感じた。児童生徒は、周囲の様子を見つつ動くことも多いと思うが、教育活動の中で様々な刺激を受けて成長変化する。今後の成長が楽しみである。
